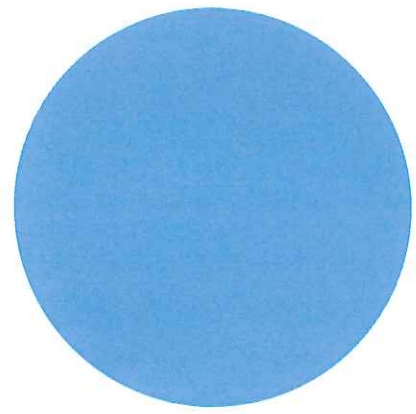
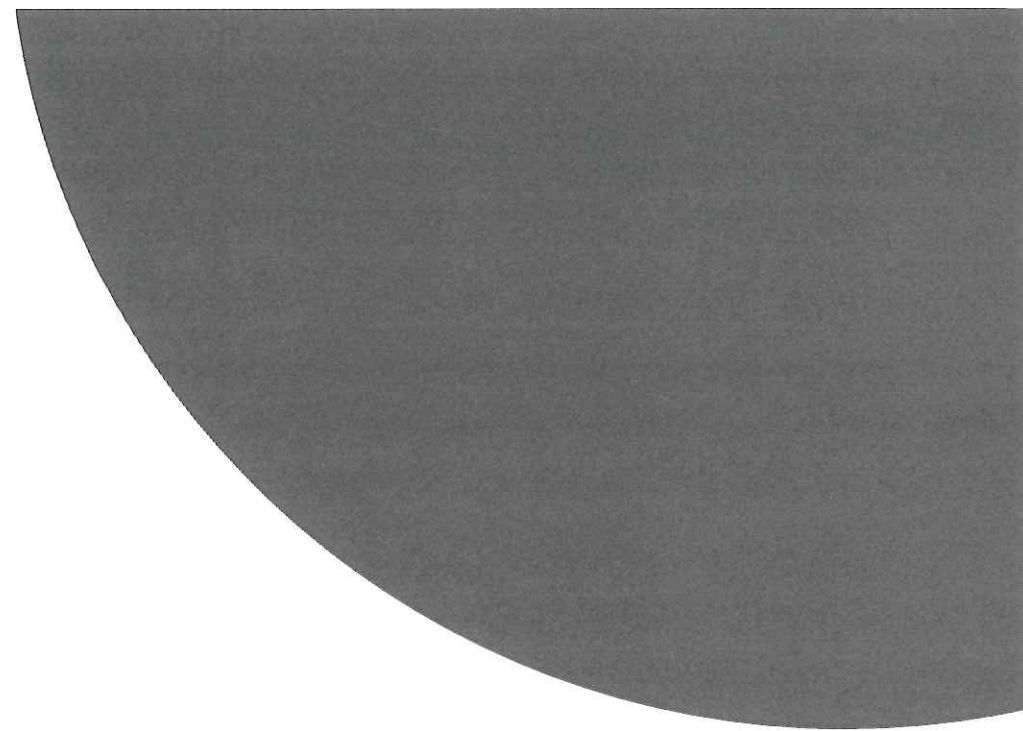




「電気保安人材・技術
ワーキンググループ」
人材確保・育成の取組

全日本電気工事業工業組合連合会

全日電工連概要 《設立・目的》

電気は照明や動力、情報の伝達手段として、またクリーンなパワーとして、あらゆる場所、あらゆる施設で必要不可欠なものです。特に現在では、情報技術の進歩とともにIoTなどの技術が急速に発達する中で、機器の設備や技術も著しく高度で多様なものとなっております。

同時に電気保安も一段と重要になっています。当連合会では、社会の皆さまに安心して電気を利用していただくために、全国の所属組合員とともに、新しい技術に対応する高度な国家資格と技術をもった技術者の養成に努め、あらゆる事業を行っています。

設立認可

通商産業大臣（現 経済産業大臣）
 昭和33年 1月17日 全日本電気工事業協同組合連合会
 昭和41年10月12日 全日本電気工事業工業組合連合会に組織変更
 中小企業団体の組織に関する法律（第3条第9号、第42条、第48条）

建設大臣届（現国土交通大臣）

（建設業法第27条の37）昭和53年 5月15日

代表者

会長 米 沢 寛

会 員

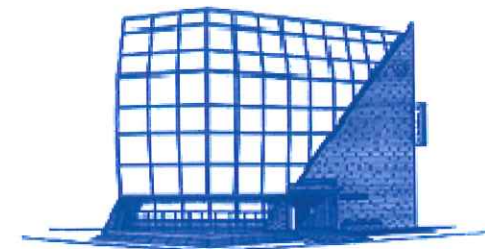
47（各都道府県電気工事（業）工業組合）

32, 863社（2019年4月1日現在）

所属電気工事業者数

うち電気工事業法による登録業者13,863社
 みなし登録業者19,000社

※みなしとは；建設業法第3条第1項の許可を受けた建設業者であって、電気工事業を営む場合に、電気工事業法に基づく届出（みなし登録）を行っております。



全日電工連概要 《主な事業》

01

存在意義の高揚・地域社会との共生

- 電気工事事業全国大会
- 電気工事技能競技全国大会
- 電気使用安全月間運動
- 災害時復旧協定・防犯協定
- 電気工事士免状交付事務受託

02

電気保安の確保

- 一般用電気工作物調査業務受託
- 一般用電気工作物点検業務受託事業

03

施工品質確保ならびに資格講習

- 第一種電気工事士定期講習業務
- 認定電気工事従事者認定講習
- I N I P 資格講習
- E V 施工パートナー事業
- 電気工事施工管理士資格試験講習支援

04

仕事づくり

- スキルアップ研修会事業
- （経営力、人材育成、新入職者育成等の研修）
- 知見拡充事業（専門冊子等）
- L E D 防犯灯設置工事

05

後継者育成

- 全国青年部協議会指導、運営支援
- 人材育成・後継者育成プログラム
- 業界理解促進交流事業（業界への入職者拡大事業）
- 女性活躍推進事業

06

福利厚生事業

- 弔慰金・見舞金制度
- 第三者損害賠償制度
- 業務災害補償制度運営
- 組立保険制度運営
- グループ共済制度運営
- 生活総合保険制度
- オートリース制度運営

07

広報・業界連携

- 業界内外への広報事業（機関紙・H P 等）
- 関連行政、関連団体・企業との連携活動

人材確保・育成の取組
支援策
《STEP1~STEP4》

【STEP1】 業界魅力発信活動

- ・工業高校などとの意見交換会等
- ・業界理解促進交流事業の実施

【STEP2】 業界初心者向け教育システムの実施

- ・組合員事業所若手技能者の育成強化
- ・初心者研修会の実施

【STEP3】 業界で働くことの魅力づくり

- ・組合員への採用活動教育・雇用環境改善教育
- ・雇用環境改善ガイドブックの発行

【STEP4】 業界の担い手確保と業界での
教育の継続さらなる充実化

- ・非電気系職種・学校などからの多様な人勢確保・育成策の構築

業界理解促進交流事業①

【事業概要】

地域電気工事業界への人材供給の活性化をさせることを目的に、若者への入職促進に向けた意見交換会等の「業界理解促進交流事業」の展開を重点的に図っている。（2014年度から本格展開）

組合員・青年部員である若手技術者・経営者と下記対象者との意見交換会を毎年、実施している

【対象者】

工業高校等の電気系教育・訓練機関の学生・生徒はもとより、非電気系教育機関、保護者、若年転職者といった若年層およびその関係者



業界理解促進交流事業②

【目的】

- ①就労前の若年層に、現場のイメージだけでなくキャリアのイメージを具体的に伝える
- ②将来の就職先として、選ばれる業界づくり
- ③新入社員の受入れや育成に活かすことができ、未来の電気工事業の発展に貢献
- ④実施する側では就労前の若年層と触れ合うことで、業界や経営に関わる気付きのきっかけとし成長の糧とする

《 実 績 》

全国計	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2014～2018年度 総 計
実施回数	29回	79回	114回	111回	137回	470回
教育機関 参加者数	1,173名	3,114名	5,324名	5,321名	5,849名	20,781名

STEP1

各種業界PRツールについて

- 各種冊子の発行

電気工事業界を知ろう!!

電工STYLE

Come on, Let's go!! 等

- 映像物の制作

電気工事士魅力発信動画

「Together 電気工事士」等

- ウェブサイトの制作

はじめての電気工事業界



カッコイイって思ってもらえたらいいなって。



少しでも綺麗にまとめて、次の仕事をする方にも



業界初心者向け教育システムの構築

〈初心者研修会の実施〉

業界初心者(二種取得相当)の育成策として、現場に従事する前の社会人マナー、業界知識、現場業務の流れ等の理解を深め、電気工事技術者としての魅力・やりがいの認識を深めるための研修会(現在、次世代電気工事技術者養成研修事業として合わせて実施)

【対象者】

主催工組の加入組合員・青年部員企業の初心者(電気工事士二種取得相当)

○男性・女性、技術職・事務職を問わず ○過年度社員(1～3年目程度)及び中途社員

〈全日電工連発行 研修会教材〉



業界で働くことの魅力づくり

募集活動の方法、面接の仕方、採用時・雇用時の労働関係の法律や制度等をまとめたガイドブック。受入れ側の体制整備に対する支援冊子。

研修内容は、電気工事業関連の法律、建設業法、その他業界に関連する法律・制度・モラル事項と幅広く、横断的に多岐に渡る内容を集約し、電気工事業を営む上で欠かせない基本的事項を一度に学べるように構成。

経営者である組合員、後継者である青年部員、組合員企業に在籍の管理職の方や各種書類作成・届出事項を管理する事務職の方まで幅広い方を対象



建設業者に関する特例

建設業法の適用を受けている建設業者については、登録に関して二重規制となることから、

建設業の許可を持つものが電気工事業を営むときは、登録ではなく**届出**とし、「**みなし電気工事業者**」となります。

CHECK 届出は義務です！

一般用電気工作物の保安確保の観点から、「みなし電気工事業者」でも、登録電気工事業者と同じ規制を受けます。

また、建設業の許可を持つもので、自家用電気工作物に供する電気工事業の場合は、その旨を**通知**し、「**みなし通知電気工事業者**」となります。

CHECK いずれの場合でも、建設業の許可の更新毎に、変更届出もしくは通知が必要です。

女性活躍推進事業

【事業概要】

全国各地において“女性電気工事従事者（現場施工、施工管理、積算・C A D等技術事務、総務・経理事務、経営層等の様々な業務従事者を対象）”のパワー活用をするイベントを開催。下記を目的に女性活躍推進の足掛かりとして展開。

【目的】

- ① 組合員・青年部員・事務局員においては、“業界に女性が従事すること”への様々な気づきや意識改革の場として
- ② 女性電気工事従事者においては、業界に従事する女性同士の交流の場およびそれに伴う自己啓発の場として
- ③ これから業界を目指す人材に対しての業界P Rの場として



女性活躍推進事業

【実績】

- 女性電気工事従事者を集めた座談会や当従事者の参加・PR活動、組合事業活動などを取り組んだ結果、**2018年度実績で、17会場、159名の参加があった。**
- また、女性活躍に向けた職場環境整備等への支援策として「**女性活躍応援ブック**」を発刊。
- 2019年度からは、全国の電工組で「女性部」の設立を推進。2007年に茨城県が設立、2019年には京都府と熊本県が続いて設立しました。



電気工事技能競技全国大会①

【開催目的】

電気工事技術者の資質及び技術水準の向上、電気工事業界全体のレベルアップ等を図るとともに、女性電気工事士の活躍推進、電気工事業界の将来の担い手育成、入職促進を目的に電気工事技能競技全国大会を開催。

〈競技種別〉、〈一般の部〉、〈女性の部〉 当連合会所属組合員から選手選出
〈高校生の部〉 工業高校生から選手選出

【表彰】 成績優秀な者を大会当日に表彰

【一般の部】 金賞 経済産業大臣賞及び全日電工連賞

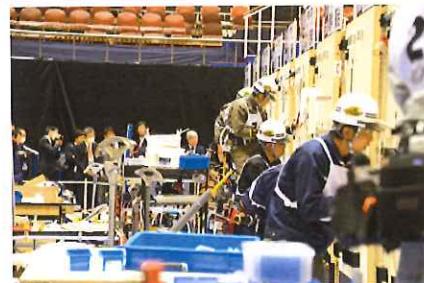
【女性の部】 最優秀賞 国土交通大臣賞及び全日電工連賞

【高校生の部】 最優秀賞 文部科学大臣賞及び全日電工連賞



電気工事技能競技全国大会②

【大会実績】	日 時	場 所	総選手数	大会参加者数
第 1 回大会	平成26年11月26日	両国国技館	30名	1,700名
	選手参加者内訳（一般の部：30名）			
第 2 回大会	平成28年11月25日	両国国技館	40名	2,031名
	選手参加者内訳（一般の部：30名、女性の部：5名、高校生の部5名）			
第 3 回大会	平成30年11月30日	両国国技館	44名	2,273名
	選手参加者内訳（一般の部：30名、女性の部：5名、高校生の部9名）			
第 4 回大会*	令和2年11月25日	横浜アリーナ	66～76名（予定）	
	選手参加者内訳（一般の部：58名、女性の部：9名、高校生の部9名）			



※第4回大会においては、予定人数となります

電気工事業全国大会①

【電気工事業全国大会 基本理念】 ※一部を抜粋

- ・ 業界の諸課題について討議、業界のあるべき姿を模索する。
- ・ 業界の存在価値の高揚を図る観点から、業界の実情を地域社会に対し発信する。
- ・ 全国団体であるネットワークを更に活用し、横に広げ頑張る組合員支援に資する事例の紹介、方策を討議し、「組合員の道を拓く機会、気づき」に資する場とする。
- ・ 次代を担う青年部員の資質向上ならびに時代のトレンドを見据えた大会を目指す。

【60周年第33回全国大会 開催概要】

全日電工連創立60周年記念 第33回電気工事業全国大会《北陸・石川大会》

日時：令和元年10月16（水）～17日（木） 場所：石川県立音楽堂 他

- ・ 60周年記念事業として、金沢駅東もてなしドーム地下広場にて、業界PRコーナー並びに、企業展示ブースを設置。

金沢市内の工業高校の生徒や一般の方に最先端技術を通して、電気工事に触れてもらう機会として催した。



電気工事業全国大会②

業界P R・企業展示コーナー

【V R体験「電気工事業向け危険作業訓練V R」】

結線作業（ブレーカーの交換・結線）、切断作業（通電した状態のケーブル切断）

昇柱作業（安全帯による昇柱、検電）など電気工事の緊張感とドキドキをバーチャル体験！

【展示】

- ・北陸電力/配電工事用ロボット「アシストアーム」
- ・第3回電気工事技能競技全国大会 作品パネル
- ・全日電工連60周年のあゆみ

【放映】－業界P R映像

【企業展示ブース】

- ・全28ブースにメーカーや企業などが出店



当連合会からの課題、要望事項等

- 第一種電気工事士免状取得に必要な実務経験年数の見直しについて

電気工事士法施行規則第2条の5項 第一種電気工事士の
認定基準、5年の実務経験を短縮